

芸術工学会 2017 年度・春期特別企画

<デザインの方法・芸術工学的アプローチ>

この度は、デザインの方法に焦点を当てたいと思います。長年行ってきたデザインを振り返り、自らの方法について考えてみるのも良いでしょう。デザイン教育現場にて唱導してきたデザイン方法論を、その抛り所を確認しながら、改めてまとめてみるのも良いでしょう。時代の状況は変わりつつあり、これからの時代に向けたデザイン方法の課題指摘や、新たな方法の提案があっても良いでしょう。

デザインの方法は、理論と実践をつなぐ学会にとって重要な課題です。25 周年を目前にして、あらためてこの根本問題に取り組んでみたいと思います。このことはまた、私たちが標榜してきた芸術工学のアイデンティティを明確にし、現代における意義を確認することにもなるかと思えます。それは何だったのかと、改めて問いたいと思うのです。

会員それぞれ、自らの言葉で語って下さい。エッセー、研究ノート等でも構いません。もちろん論文も歓迎します。具体的な事例や経験を基にしたそれぞれの思いや暗黙知に形を与え、公の場に持ち寄って下さい。そこから新たな概念、新たなビジョンが生まれることを願っています。

※注：「方法」は、「やり方」「仕方」「考え方」等と解釈していただいて結構です。

論文・論考・評論・研究ノート・エッセー・コメント等募集

1) 締め切り：2017 年 3 月 31 日

提出先 酒井聡 (sakai.so@aga.tuad.ac.jp)

2) エントリーの提出：2017 年 1 月 31 までに、タイトルならびにフォーマット等を記したエントリーシートを提出して下さい。提出先 酒井聡 (sakai.so@aga.tuad.ac.jp) それ以降の提出や変更は個別にご連絡下さい。ただし応募者多数の場合は、ここで締め切らせていただく場合があります。

3) フォーマットの選択：次の中から選んで下さい。①A タイプ・フォーマット (論文・評論などを中心に、1 もしくは 2 ページ)、②B タイプ・フォーマット (エッセーなどを中心に、2 段もしくは 1 段)、④C タイプ・フォーマット (コメント、行数自由、2 段以内)

4) 発表方法：2017 年春期大会号に掲載

5) 掲載条件：

- ・編集者 (2017 年春期大会号) が、学会誌、当大会ならびに当号にふさわしくないと判断した場合は、掲載をお断りする場合があります。
- ・自己宣伝や特定の会社やデザイナーズ集団の宣伝の色合いの強いものは掲載できません。特定の会社やデザイナーズ集団を誹謗するようなものも掲載できません。
- ・本テーマとの関係が希薄と判断されるものもお断りします。
- ・事実関係に不確かな部分がある場合、お断りする場合があります。
- ・各タイプで十分な本数が集まらなかった場合は、そのタイプの企画を取りやめにする場合があります。その場合、原稿は未発表のまま筆者にお戻しします。

6) レイアウトなど：別紙、フォーマットあるいは学会誌 no.68 2015 年度大阪大会号を参照下さい。

以上